

第4回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ

# 台風10号による岩手県小本川の被害報告

岩手大学地域防災研究センター 自然災害解析部門  
土木学会水工学委員会・同東北支部合同 平成28年台風10号水害調査団団長

小笠原敏記



日時 2016年11月8日(火)  
場所 土木学会講堂

©2016岩手大学

# 小本川水系

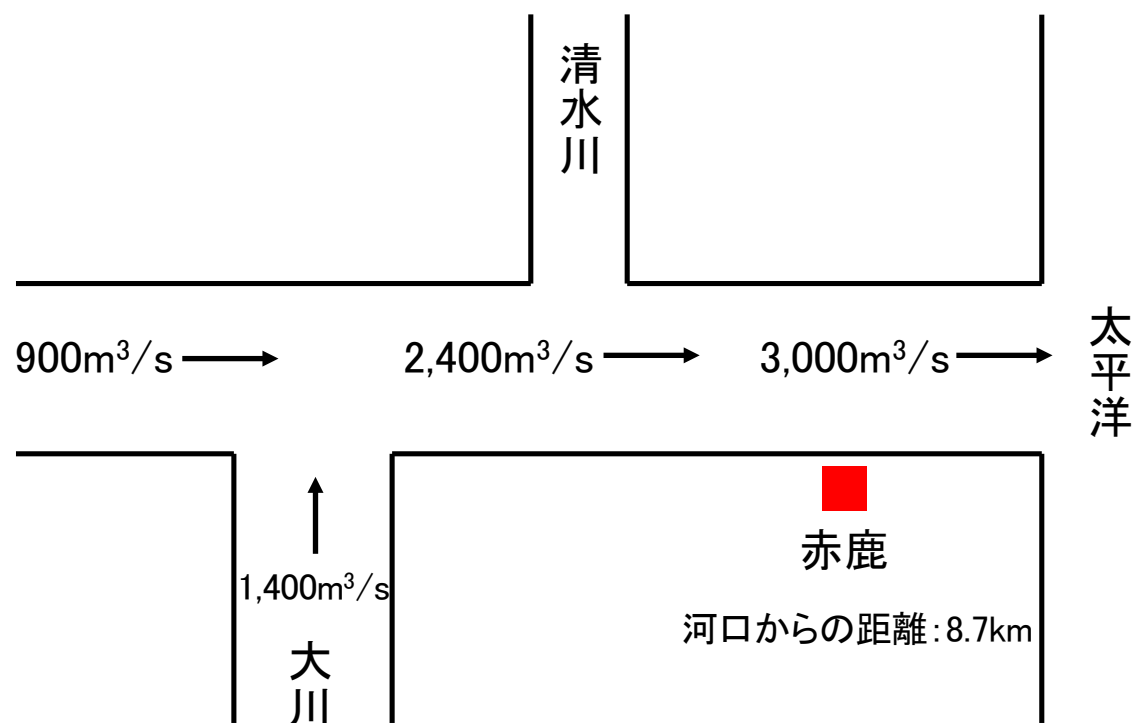


流域面積: 731km<sup>2</sup>  
幹川流路延長: 65km  
年間降水量: 1200mm



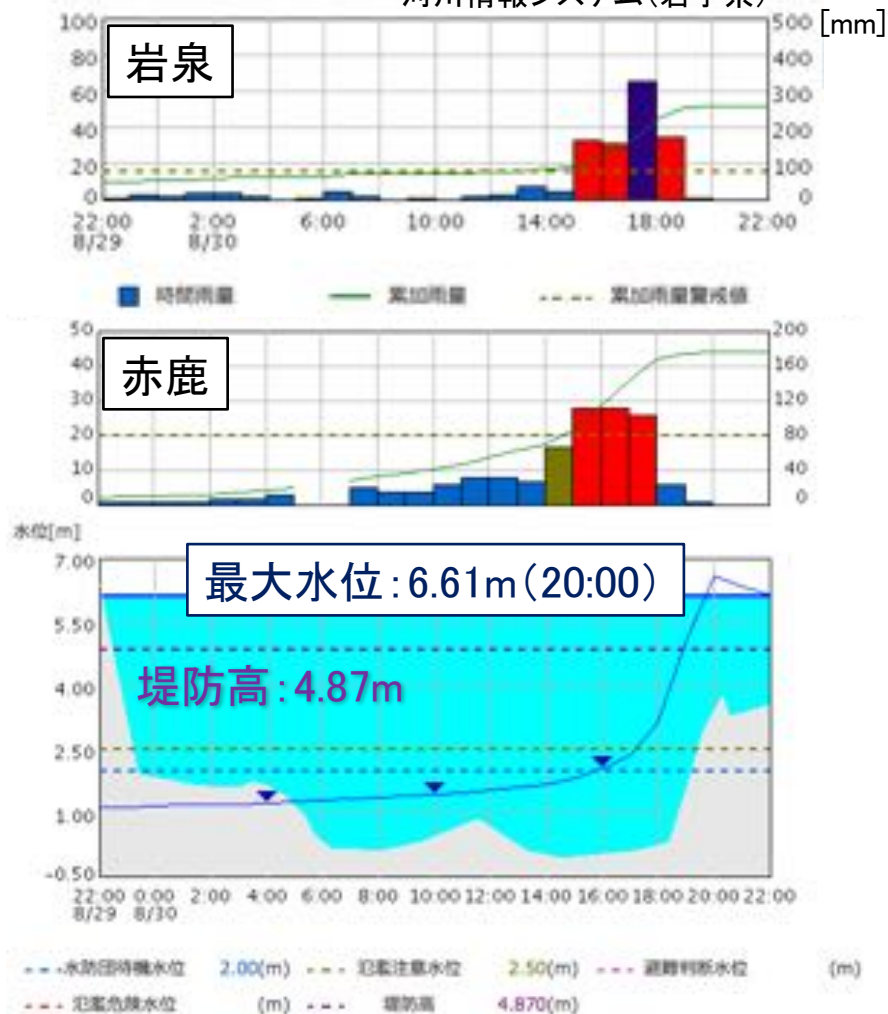
## ● 計画高水流量

小本川における計画高水流量は、赤鹿地点において $3,000\text{m}^3/\text{s}$ とし、河口まで同流量とする。

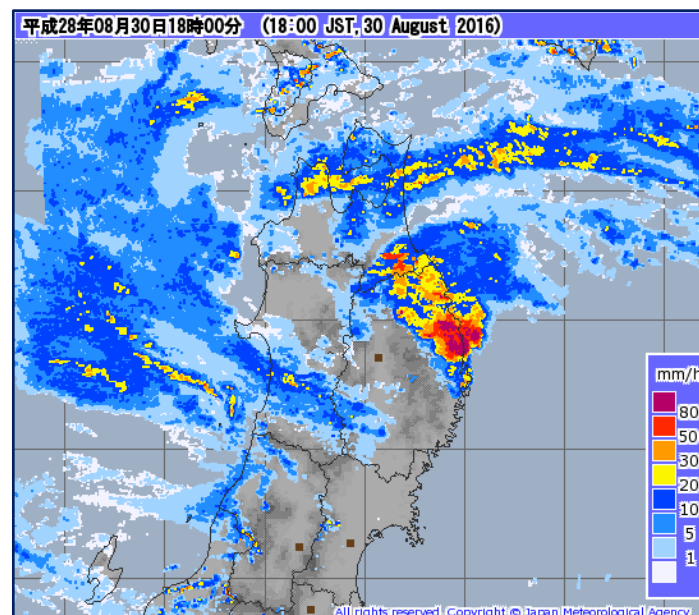


# ● 観測記録

河川情報システム(岩手県)



Cバンドレーダー(気象庁)



1時間降水量

70.5 mm/hr (岩泉)

8月の月降水量

586.5 mm (岩泉)

観測史上最大

# 主な調査地区

2016.9.15

門地区



2016.9.4・15

乙茂地区



2016.9.15

小本地区



## ● 小本川の被害状況～門地区～

撮影日：9月15日





# ● 小本川の被害状況～乙茂地区～







39°50'26.70" N 141°51'32.17" E 標高 42m

# ● 流木の堆積状況



## ● 浸水の痕跡



## まとめ

- ✓ 4時間程度の間にも累積雨量が200mmを超えるような集中豪雨であった
- ✓ 台風10号以前の台風等による豪雨によって、地中や河川等に水が累積された状態であったことも、大きな災害を引き起こした要因である
- ✓ 流木が橋脚に堆積し、水の流れがせき止められたことによって、外水氾濫が発生した箇所が多く存在した
- ✓ 山地を流れる蛇行河川では、上流から下流までの多くの地区で氾濫被害が生じた